

Cente Technical Information

発行番号	001-0042	Rev	第1版	発行日	2013/03/08
題名	DHCPモードにした状態で短時間にリンクアップ/リンクダウンを繰り返すと、IP通信できない状態になることがある現象について				
情報分類	障害情報				
適用製品	<ul style="list-style-type: none">•Cente TCP/IPv4 Ver.1.00 - Ver.1.33•Cente TCP/IPv4 SNMPv2 Ver.1.00 - Ver.2.13•Cente TCP/IPv4 SNMPv3 Ver.1.00 - Ver.2.13•Cente IPv6 Ver.1.00 - Ver.1.43•Cente IPv6 SNMPv2 Ver.1.00 - Ver.2.13•Cente IPv6 SNMPv3 Ver.1.00 - Ver.2.13				
関連資料	なし				
<p>【該当するユーザ環境】</p> <ul style="list-style-type: none">・自IPアドレスの取得モードをDHCPモードにしているユーザ。 <p>【障害内容】</p> <p>LANドライバはLANのリンクアップ検出時に<code>elap_start()</code>、リンクダウン時に<code>elap_stop()</code>を呼びます。自IPアドレスの取得モードをDHCPにした状態でLANケーブルの抜き差しを繰り返すなど、<code>elap_start()</code>と<code>elap_stop()</code>を短時間に繰り返し呼び出すと、<code>elap_stop()</code>から返らない状態になることがあります。それ以降、LANケーブルの抜き差しでも復帰せず、機器の電源を再投入しないとIP通信できない状態となることがあります。</p> <p>【発生理由】</p> <p><code>elap_start()</code>では別タスクを起床させ、そこからDHCPの開始を行っていますが、<code>elap_stop()</code>では直接DHCPの停止を行う構成にしていました。そのため、<code>elap_start()</code>と<code>elap_stop()</code>を短時間に繰り返し呼び出すとDHCPの停止を実行している最中に別タスクによるDHCPの開始処理が割り込まれるケースがありました。この部分の排他制御が不足しており、割り込まれたDHCP停止処理が不正にセマフォ待ち状態となって<code>elap_stop()</code>から返らない、という症状が発生していました。</p> <p>【回避方法】</p> <p>ソースコードを修正し、DHCPの開始と停止が必ずシーケンシャルに発生するよう修正する必要があります。</p> <p>(変更箇所については、営業担当またはsupport@cente.jpまでお問い合わせください。)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>					